

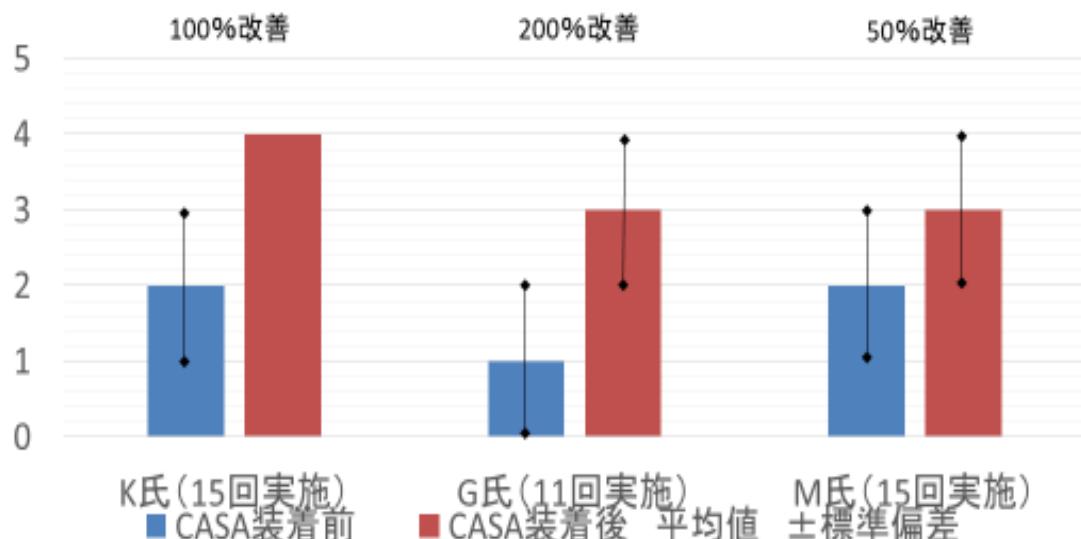
(第3報) 自立支援介護・パワリハ学会、2017年(東京)

演題名: 会話賦活装置(CASA)により、会話のテンポが速くなり、その内容も充実した。

発表者: 青木竜太郎、青木さつき、草野孝二郎、浅田章

所属施設: すこやか生野

難聴があり、通常の声掛けでは聞き取れない利用者3名に対してCASA装着前後の態度(積極性)の比較



CASA装着前は相手の声が聞き取りにくく、話に興味はあるか積極的に話を聞く程度だったのが、CASAを装着後は自分から話をしたり、より積極的に話をするようになった。

概略: 医師との対話で 67 人中 36 人 (53%) の利用者で、会話のテンポが良くなり、質問に対する返答が早くなった。